

第2回子どもの居場所部会における審議結果

Aグループ(萬羽部会長、北脇委員、古源委員、鈴木(隆)委員)

子どものやりたい	休む		何もしなくてもいい(ダラダラしてても大人に怒られない) ねれる
	子どもやりたい	やりたいサポート	子どものやりたいことをさりげなくサポートしてくれる。危ないもOK 子どもの力を見守ってくれる 行政主導ではなく当事者主体の居場所づくり 雨の日でも遊べる 児童館・公民館のように、天候に左右されない場所の提供
		やりたいこと	ボールをつかえる。 大きな音を出せる。
	大人目線	※記載なし	さりげなく社会的マナーを学べる? 社会とのつながり ものづくり体験 小さいケガをよくする 大人が楽しめる (※子どもも大人もみんなで楽しめる場所) 子どもの望む居場所=親の安心 大学生ボランティアの活用拠点 (※中高生のボランティア活用も)
		交流	地域交流がある 多世代交流 多世代交流がある 多世代(いろいろな立場の方)交流 異世代で交流できる場所・大人と子ども間の存在 そこにいる人、あつまる人が、同じ立場にあるスペース お客さんにならない
	子どもやりたい、大人目線の両方	体験	様々な体験をすることができる 子供が自分たちの力で居場所をつくりだせるノウハウや経験を身につけられる場所 自然 大勢でも一人でも存在できる
	選ぶ ※「選ぶ」、「身近」、「心の安心」に関連あり。		様々な選択肢(居場所のジャンル) 自分の希望に合う場所をみつけられる 「今日の放課後の過ごし方」を選べるしくみ 毎日行く場所がどこかしらある 中高生の場所の充実 行きたいと思ったときにすぐに探せる利用できる 初めてでも参加しやすい
	身近 ※「選ぶ」、「身近」、「心の安心」に関連あり。		歩いていける距離 子どもが自分の足で行ける場所・地域差がないように
	安心 ※「選ぶ」、「身近」、「心の安心」に関連あり。		こどもの居場所≒大人の居場所 (※みんなで集える居場所) 学校でも家でもない安心して過ごせるような所になるように
	心の安心		「誰一人置き去りにしない」理念に基づいた居場所づくり すべての子が受け容れられる場所 どんな時でもどんな状況でも「ひとりじゃない」と実感できる場所 自分が属さない居場所を理解し尊重しあう
	※上記「心の安心」のそばにあり		なんでも話せる、相談できる場 子供たちがポロツと発する本音や表情を「市民」が感じられる場所 声を上げにくい悩んでいる子ども、親に手を差しのべる居場所づくり
	安全		大きな犯罪にまきこまれない 子どもと一緒に安心・安全な場所をつくる 車の侵入などの制限を強くし、特に何もしなくても安全に過ごせる街にする
※記載なし		おながやすいなら食べるものがもらえる 精神的、経済的負担の大きい子ども、親を重点的に支援する居場所づくり 親が帰ってくるまでいてもいい(夜までやっている)	
※記載なし		広報! 子ども子育てに関する情報、支援活動の一本化	
持続可能		持続可能をめざす支援 スタッフの考え共通認識も大事、みんなで考える 子どものため十分な財政的支援のある居場所づくり 今ある建物を再利用したい資金援助して 運営団体が継続的に活動できる体制	